

図1 大会期間中におけるCOVID-19確定者発生時対応フロー

2022.7.10 改訂版

* 通常保健所から濃厚接触者へ指示されるが、感染拡大予防の観点から先行的に対応する
また、待機日数に関しては最新の厚生労働省指針に従う

† 活動していても接触状況次第では濃厚接触に該当しない選手もいるため詳細を確認して判断する

<必ず保健所の指示に従う>

- ・2週間の行動記録の確認
- ・感染対策の内容確認
- ・必要時、濃厚接触者リスト提出

- ・発症48時間前までにチーム活動あり
➔ チーム活動は48時間中止†
- ・該当者へ自宅待機指示*

該当大学
感染対策責任者

連盟より該当者へ自宅待機指示*

審判・運営スタッフ
協賛企業関係者・報道関係者 etc

保健所

診断確定
通達

審判・運営スタッフ
協賛企業関係者・報道関係者 etc

濃厚接触者リスト作成

濃厚接触者あり・即時指示*

診断確定
通達

選手・スタッフ

即時報告

各大学
感染対策責任者

即時報告

COVID-19対策チーム

- ・発症48時間前までのチーム活動の有無確認
- ・濃厚接触者リスト作成

大会開催・継続判断

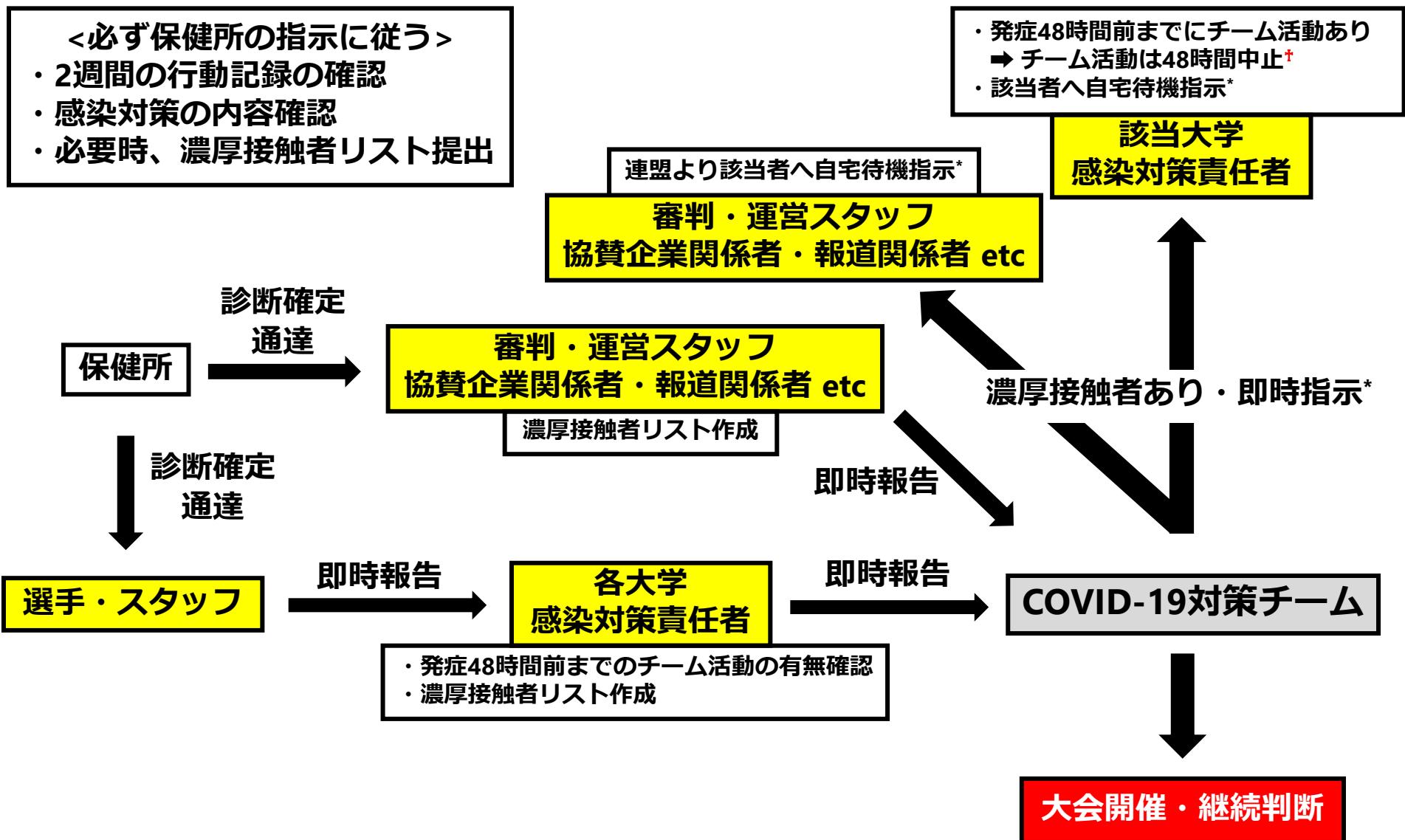


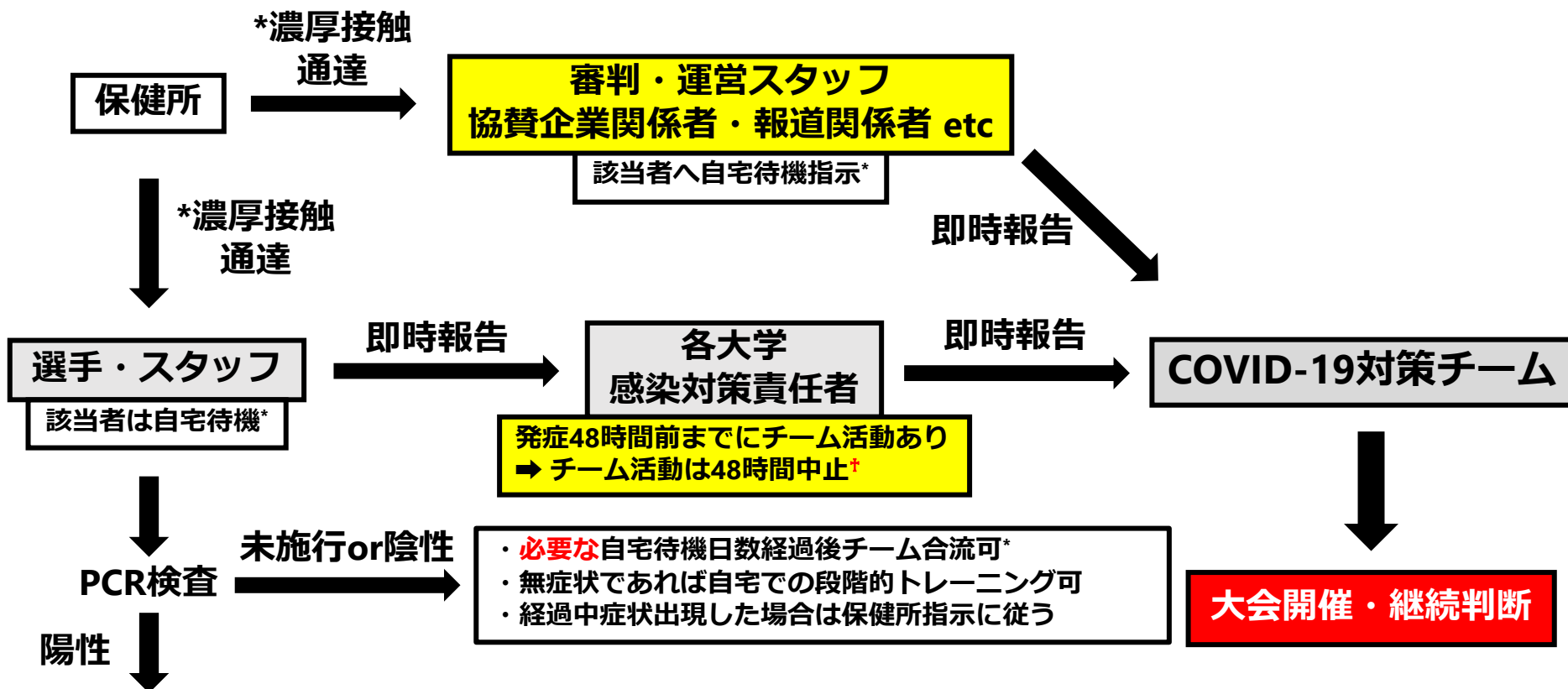
図2 大会期間中における濃厚接触者発生時 (同一部活外からの曝露時)対応フロー

2022.7.10 改訂版

濃厚接触者も保健所の指示に従うこと

* ただし患者(確定例)もしくはは無症状病原体保有者との濃厚接触が予め明らかであれば、保健所からの通達を待たずCOVID-19対策チームの指示のもと先行的に対応する (図1内濃厚接触者への対応参照)

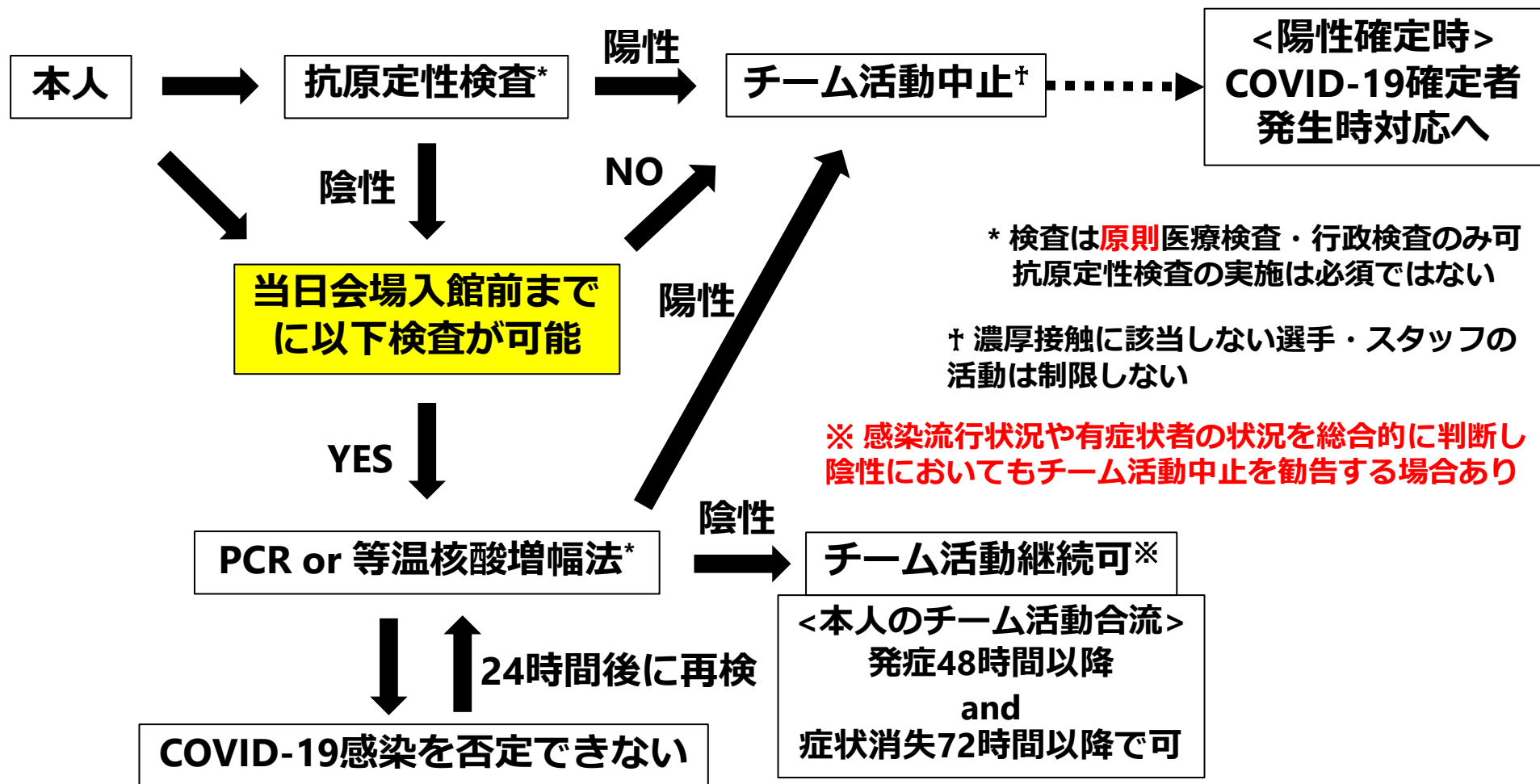
感染流行状況によっては保健所による濃厚接触者認定が行われないため、各大学・COVID-19対策チームで判断する。また、待機日数に関しては最新の厚生労働省指針に従う



* 活動していても接触状況次第では中止が不要な場合もあるため詳細を確認して判断する

図3 COVID-19を否定できない症状出現時のチーム活動(大会参加含む)に関して

2022.7.10 改訂版



<SARS-CoV-2 抗原検出用キットの活用に関するガイドライン>

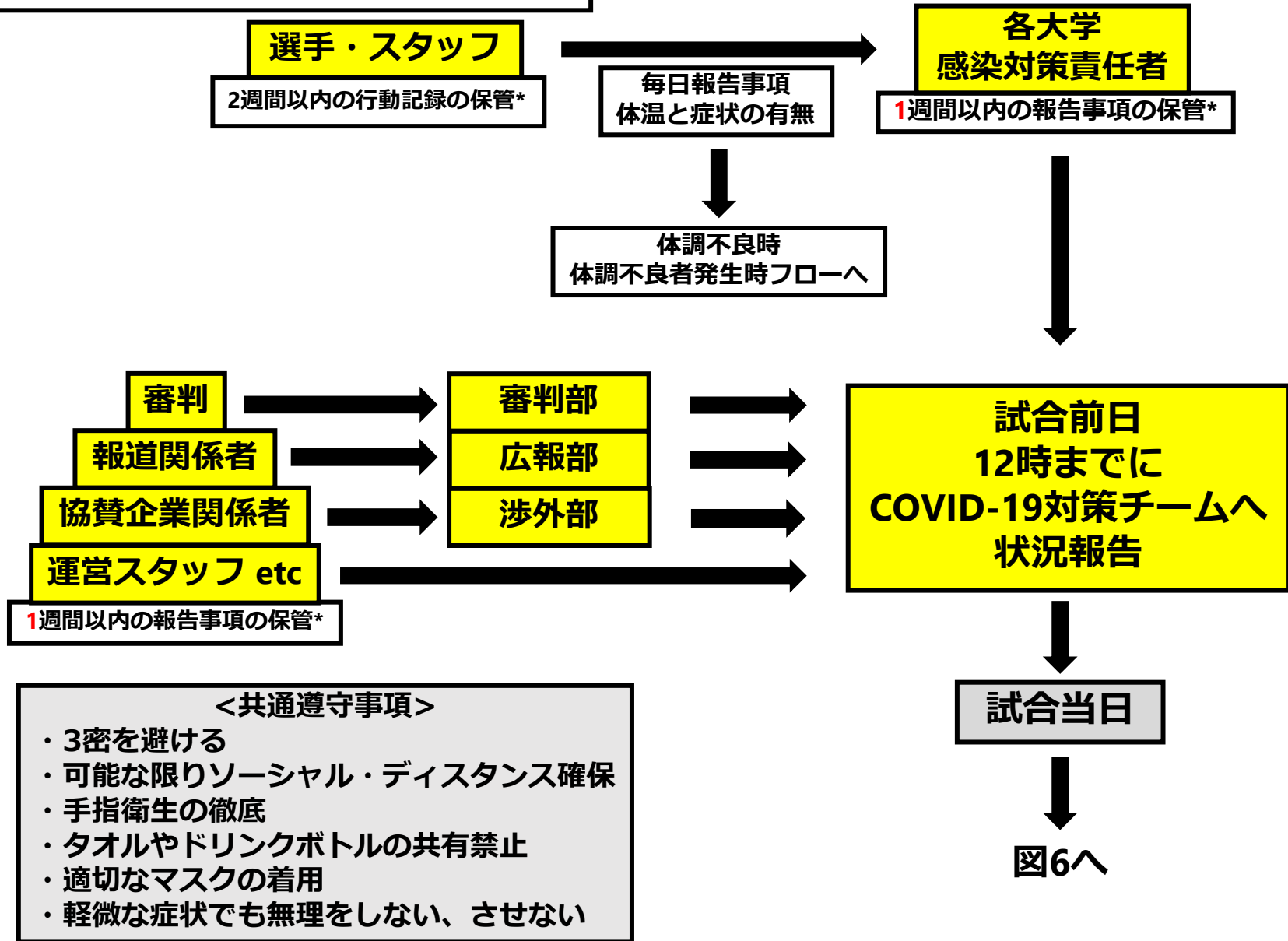
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000640554.pdf>)

発症2-9日目においては陰性であればPCRは必須としないと記載あり

⇒ただしPCR陽性かつ抗原陰性の症例があるため(100%の再現性ではない)

抗原陰性=感染なしとは判断しない。

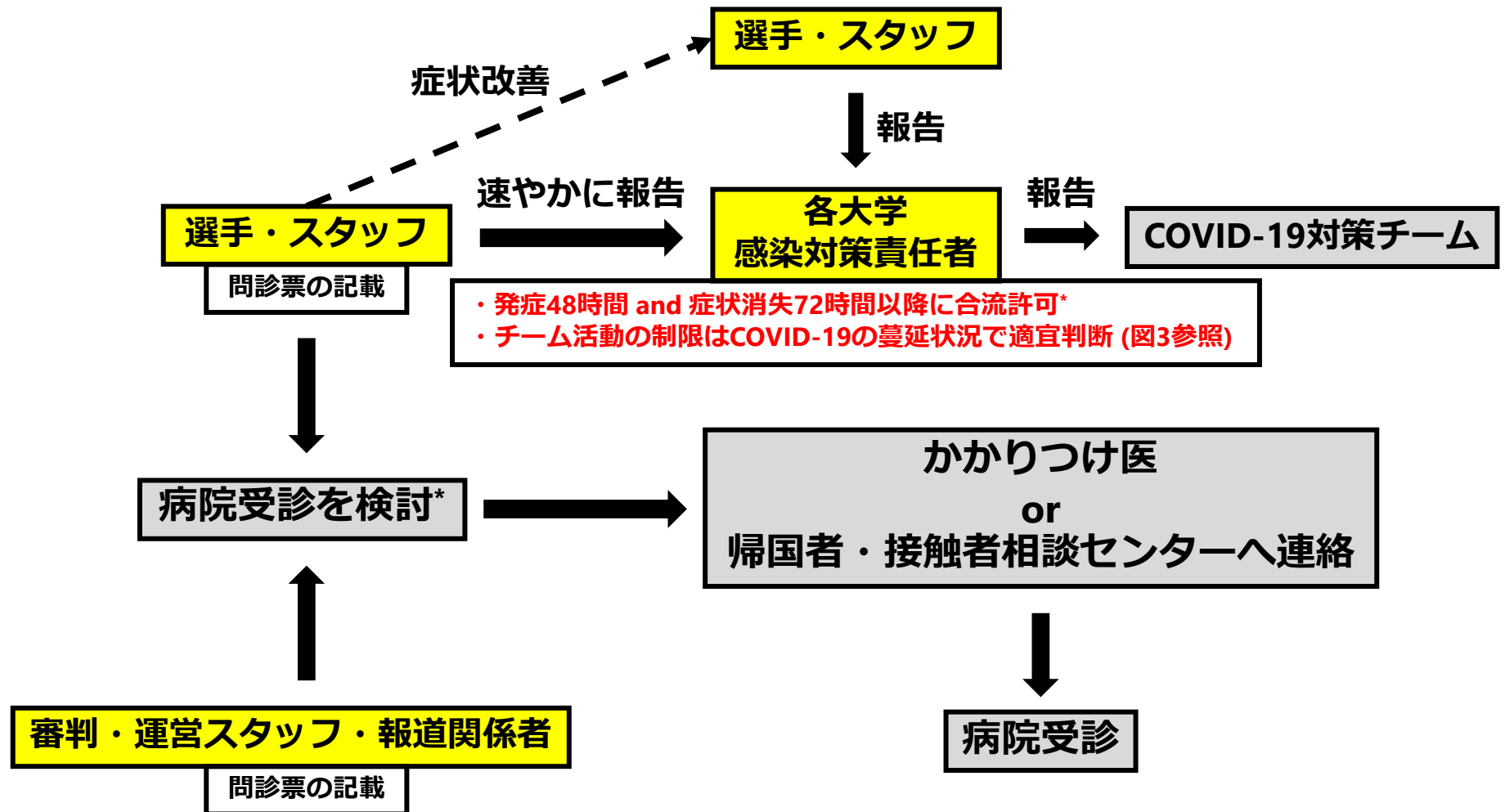
図4 試合前日までの情報集約・確認フロー



* 保管されている行動記録や報告事項(最低でも体温, 倦怠感の有無, 咳の有無, 喉の違和感や痛み, 味覚・嗅覚の異常, について網羅すること)は、必要時速やかに提出すること

図5 体調不良者発生時の対応フロー

2022.7.10 改訂版



* 周囲のCOVID-19蔓延状況で適宜判断する。

選手、もしくは選手と接触し得る者は抗原検査やPCR検査・等温核酸増幅法などを検討する。

図6 試合当日および来場時受付対応運用フロー

2022.7.10 改訂版

* 学生が感染対策責任者である場合には、大会終了後に連盟から作成される報告書を大学側に提出し捺印をもらう事

選手・スタッフ

感染対策責任者は当日の体調が問題ないことを、**試合開始3時間前までに**COVID-19対策チームに報告
(当日の健康証明に偽りが無い旨の誓約や責任者名・役職の記載を含む*)

上記以外

非接触型体温計による体温check

37.5°C以上

接触型体温計による再検+問診票記載
(受付近傍にスペース確保)

37.5°C未満

問題あり

来場時健康確認

37.5°C以上
or
問診票問題あり

問題なし

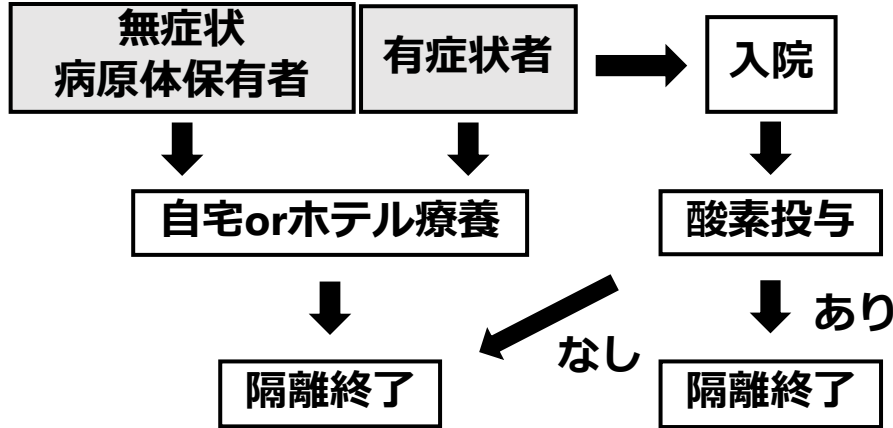
37.5°C未満
+
問診票問題なし

入場不可
自宅待機

入場可

図5へ

<陽性者の場合>



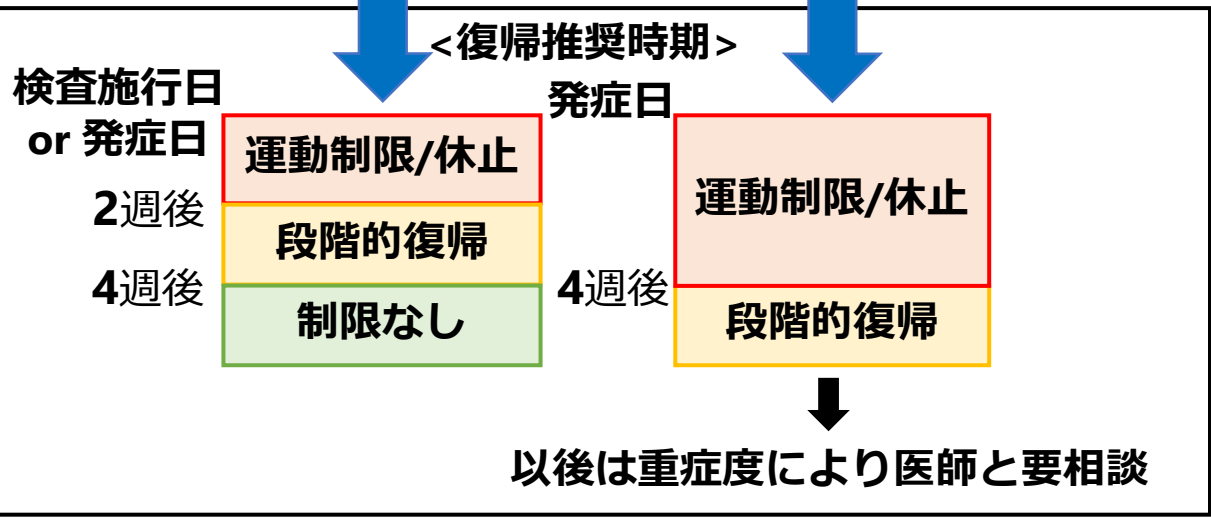
⚠

- ・運動制限による体力低下
- ・感染による心臓・血管・肺など様々な臓器への影響

⇒有症状であった場合は必ず個別練習を経て、無症状であった場合でも段階的復帰を強く推奨する

<復帰前評価項目>
(以下全ての正常を要する)

- ・パルスオキシメーター: 全例必須
- ・安静時心電図: 全例推奨
- ・心エコー: 入院例推奨



<濃厚接触者の場合>

